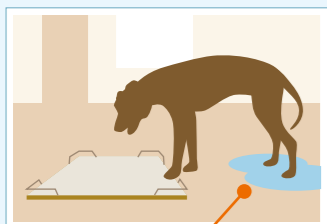




ノア通信

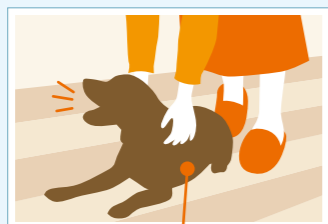
老化のサインをチェック！

シニア期に入ると、今までできていた動きが難しくなり、いくつかの老化のサインが現れます。いつもと違うサインにいち早く気づき、早めのケアをしてあげましょう。



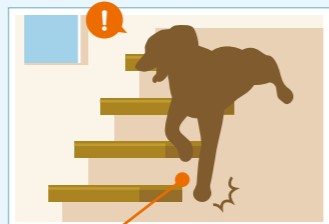
☑ トイレに間に合わない

おもらしが増えたり、頻尿になったりすることもあります。トイレをわんちゃんの側に置き、タイミングを図って連れて行くなど優しくサポートしてあげましょう。



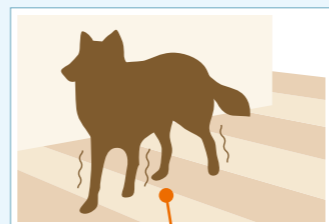
☑ 急に触ると驚いて鳴く・咬む

視力などの感知能力が弱まり、少しのことで不安がって鳴いたり、咬む仕草を見せたりすることがあります。わんちゃんに触れる前に、少し大きめに声をかけて予告してあげましょう。



☑ 階段・段差が苦手になる

足腰が弱り、階段の上り下りやジャンプが苦手になることもあります。階段のある家ではわんちゃんを1階で寝かせてあげる、また段差部分にはスロープをつけてあげるなどして安全対策をとりましょう。



☑ 足が震えたりよろけたりする

足の筋力が衰え、踏ん張る力が弱くなるため、滑りやすいフローリングは要注意です。滑り止めのマットを敷いてあげると歩きやすくなります。

その他、体に起こる変化

- 目**
- 目やにが増えた
 - 白っぽく濁って見える

- 口**
- 口臭が出てくるようになった

- 皮膚**
- 感触にハリがなくなった
 - イボなどのできものができるようになった
- 悪性の腫瘍であるおそれもあるため、発見したら当院までご相談ください

- 毛**
- 毛色が薄くなった
 - 艶がなくなり、パサつくようになった
 - 毛量が減り、カットしてから伸びるまでが遅くなった
 - 抜け毛が増えた



異常に早く気付くことができるかどうか、老化の始まりの把握、ひいては病気の早期発見にも繋がります。日々のお家での様子が、とても重要な情報になってきます。気になることがあれば、いつでもお気軽に当院までご相談ください。

料金別納
ゆうメール

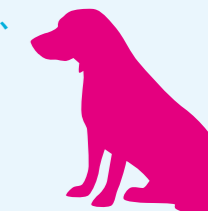


〒560-0085 大阪府豊中市上新田2-14-3
TEL:06-6835-2022 http://noah-ah.jp

フィラリア予防のお知らせと年代別お役立ちニュースです



いよいよ「シニア期」と呼ばれる年代に突入しましたね。まだまだ元気で若いころと変わらない動きをしているわんちゃんも、実は病気を隠し持っているおそれがあります。病気が進行してから治療を開始するのではなく、健康なうちから全身を調べて病気の早期発見をしていきましょう。当院では、定期的な健康診断をおすすめしています。



血液検査は食事抜きがオススメです。健康診断コースは5月31日までです

全てのコースにフィラリア検査が付きま



ノア通信

7~9歳のわんちゃんへ

簡単コース

わかること
貧血・感染症・腎臓、肝臓の数値・血糖値

基本コース

わかること
かんたんコースに加え、栄養状態や中性脂肪・コレステロール値を測定。



獣医師推奨

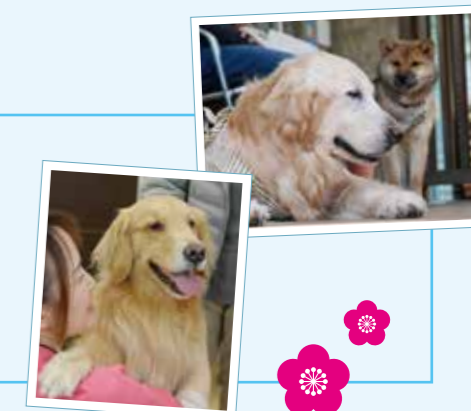
しっかりコース

わかること
基本コースに加え、レントゲン検査を行い、内臓器トラブルがないかを調べます。

※「しっかりコース」のレントゲン検査は混み合う時期は後日をお願いすることがあります。

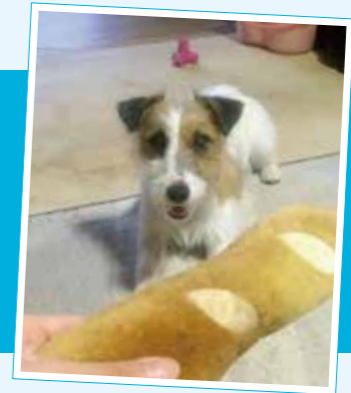
早期割引のお知らせ

フィラリア予防の始まる春は、多くの方にご来院いただくため大変混み合ってしまう。3月末までにご来院いただいた方には、病院の混雑緩和へのご協力のお礼として、500円の割引をさせていただきます！



ノミダニ・フィラリアの予防はなぜ必要？

ノミやマダニは、時には人にも感染する命に関わる恐ろしい病気を運ぶことがあります。
 また、蚊によって持ち運ばれるフィラリア症は、昔から問題とされている重症になる感染症です。
 いつ感染するかわからない状況から大切な家族を守るため、
 わんちゃんにはきちんとした「外部寄生虫対策」をすることが大切です。



「室内飼いだから大丈夫」ではありません！

- ノミに寄生された犬と触れ合うことで寄生
- 去年のノミの卵がふ化し寄生
- 知らないうちに人が家へと持ち帰り寄生など、ノミは常に寄生のチャンスを持っています。

病気を運ぶ動物たち

マダニ



マダニは動物の血液を栄養とし、様々な動物の血を吸うときに感染症を運びます。日本国内で見られるマダニは10種類存在し、北海道から沖縄まで幅広く分布しています。森や林だけでなく、散歩中に訪れる都会の公園や川原にも生息しているので、緑の草むらや茂みの多い場所では要注意です。

マダニの見つけ方

散歩から帰ってきたら、頭や耳、目の縁やお腹、足の指の間や背中など、全身をくまなくチェックしてあげましょう。

もしもマダニを発見したら

しっかりと食いついているマダニを無理に取るうとしてはいけません。マダニのくちばしには「弁」があり、一度刺さると簡単には引き抜けない形状をしています。この状態のマダニを無理に引っ張ると口先だけが切れて体内に残り、さらに危険な状態になってしまいます。マダニを発見したら、自分では触らずにすぐに獣医師へご相談ください。

ノミ



ノミは最も古くから存在する寄生虫で、犬や猫に最も一般的に見られる寄生虫のひとつです。

目に見えているノミは全て成虫で、その割合はたったの5%です。残りの95%は卵、幼虫、さなぎの状態です。周囲に隠れています。繁殖するためには気温が13℃以上あれば十分であるため、ノミにとっては日本の家は一年中天国のような居心地なのです。

ノミの見つけ方

ノミは動きが素早く小さいため、見つけ出すのに根気がいります。目の細かいクシでブラッシングしてみましょう。ノミの糞を見つげ出すことで、簡単にノミが寄生しているかどうかをチェックできます。

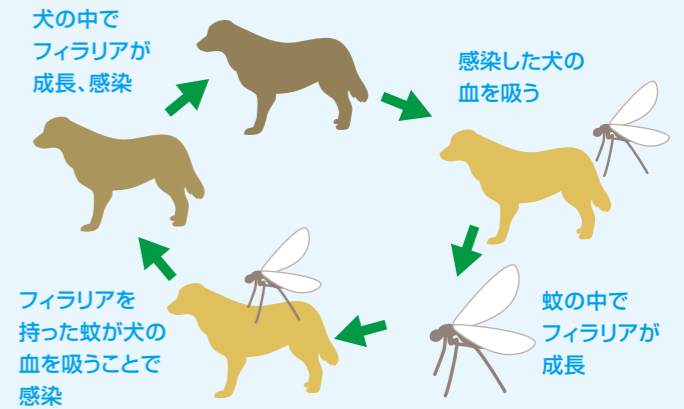


犬フィラリア症

フィラリア(犬糸状虫)は、蚊を媒介して犬の心臓や肺動脈に侵入し、やがて心不全や血尿など全身に影響を与える恐ろしい寄生虫です。

感染のメカニズム

フィラリアに感染した犬を吸血した蚊が、他の犬を吸血することで感染します。血液中にいるフィラリアは幼虫の姿をしており、その幼虫が健康な犬の血液中に入り発育することで、様々な症状が発現します。予防薬を飲むことでほぼ100%駆除できるので、毎月の予防をしっかりと行いましょう。



症状

犬フィラリア症の症状は、感染の初期段階ではあまり目立たず見過ごしてしまいがちです。次のような症状が見られたらすぐに獣医師にご相談ください。
 ・長く続く咳 ・元気がない ・呼吸が苦しそう ・食欲がない ・お腹が膨らんできた

人間にも感染する感染症

マダニ

●SFTS(重症熱性血小板減少症候群)

発熱、嘔吐や下痢などの消化器症状を引き起こします。対処療法でしか治療することができません。昨年ではこのウイルスに感染した野良猫に咬まれた50代の女性が死亡した例もあります。(動物から人への感染が認められたのはこれが初めての事です) マダニに咬まれないように予防することが重要です。

ノミ

●ノミ刺咬症

激しいかゆみが起こり、患部を掻くことで細菌感染を引き起こすこともあります。ノミの唾液がアレルギーになることが原因です。

●瓜実条虫症

ノミや、ノミをつぶした際に手に付いた幼虫を誤って食べてしまうことで感染します。ほとんどが無症状ですが、下痢や腹痛を引き起こすことがあります。

他にもある怖い感染症

●レプトスピラ症

軽度のものなら発熱したのちに回復しますが、食欲不振・嘔吐・脱水などをおこし死亡することもあります。突然の高熱や黄疸、血が出やすくなるなどの症状が見られます。病原性レプトスピラにかかっているネズミやアライグマなどの尿で汚染された水や食べ物を食べたり、触ったりすることで感染します。

●コリネバクテリウム・ウルセランス感染症

風邪と似た症状が出るため感染に気がつきにくく、重篤な症状の場合は呼吸困難を引き起こし死亡することもあります。猫や犬が保菌していることもあり、昨年までに25人の感染が確認されています。